

政友クラブ  
成田市議会議員

おだか ゆうか

小高 夕佳

小高夕佳 1992. 2. 18 生 / 立命館大学政策科学部卒  
成田市議会議員(1期目)  
教育民生常任委員会 副委員長  
JR成田駅西口・赤坂センター地区整備調査特別委員会  
広報広聴委員会 全国若手市議の会 関東若手市議の会  
成田市消防団女性部 成田市商工会女性部  
自民党女性局女性未来塾第三期生

【発行】政友クラブ小高夕佳 【連絡先】議会事務局内・花崎町760 TEL.20-1570 FAX.24-0336



一般質問

令和4年3月定例議会

## 地域振興策として農業を活かす。 農村部においても農家レストランが 開業出来るようになります。

3月議会の一般質問では、12月議会に引き続き農業を地域振興策と捉え農業の6次産業化についてを主に一般質問を行いました。地方創生を目指す上で、農業を無視することはできません。農業は私たちの生活を支える食物を作り出す重要な産業です。しかし、社会的な労働力の不足とともに、農業地域においては働き手の確保がますます困難となっているのが現状です。日本全体の農地は年々減少傾向にあり、このままでは耕す人がいなくなり残るのは荒廃した跡地です。農業の衰退は地域の衰退であり、やがては日本全土の衰退へとつながります。このコロナ禍で若者の田園回帰や企業の農業への新規参入などが注目されており、体験型農園や新鮮な農作物をその場で楽しめる農家レストランが人気となっています。本市においても、「農業を盛り上げたい。

地域を盛り上げたい。」と考える若手実業家や女性の就農者の方々から農村部で農家レストランや直売所を開業したいという声を多く頂きました。成田市の現行制度では原則、市街化調整区域での農家レストラン、直売所の開業は認められなかったものの、この度「都市農業振興計画」を策定することにより開業が可能になります。声を上げなければ、どこか懐かしい田園風景が広がる農村部は人口が減り続け地域を守っていくことは困難になります。日本の農業政策は諸外国と比べても支援が十分でないと感じています。物価高騰の影響を受け、農業生産資材への影響も深刻なものとなっており、早急な対応が求められます。命、環境、地域、国土を守る農業は安全保障の要であり国全体で支えるのがグローバルスタンダードです。古き良き日本の景色を後世に伝えるためにも、引き続き様々な角度から農業従事者の方々の応援を続けていきます。



一般質問

令和4年6月定例議会

## ペット同伴避難所の開設実現を

6月議会の一般質問では4年前に引き続き、災害対応について質問しました。

その中でも近年注目されている、ペットと一緒に避難することができるペット同伴避難所の開設を求めました。今回の質問を行うにあたり、既に開設がされている6つの自治体に調査を行いました。その結果、どこの自治体も度重なる災害の中で緊急時に迫られ開設に至ったこと。同伴避難所の開設が難しい理由としてよく挙げられる、一般避難者との共生についても対策を重ねていくことで実現は十分に可能であることが分かりました。

避難所において同行避難したペットを野外管理とすることは二次被害の発生も懸念されます。気候変動などにより、日本の自然災害の発生件数と被害はこの数十年増加傾向にあります。このような時こそ、先進地の事例を学び有事に備えることが重要であると提案しています。私たち飼い主達も日頃から愛犬や愛猫のためにできる防災対策を確認しておきましょう。

### 同行避難



### 同伴避難



#### ▲ 同行避難と同伴避難の違いについて

『同行避難』とは、災害時に飼い主がペットを連れて一緒に避難することを指し、避難所でペットと一緒に過ごせるかどうかは、各自治体や避難所の判断に任されています。一方、『同伴避難』とは、ペットと一緒に避難し、かつ避難所で一緒に過ごすことを指します。

## ひとり親家庭を応援したい。

### 『なりたお福わけ宅救便』が 一周年を迎えました。



ANA成田エアポートサービス(株)様より物資支援を頂きました。

長引くコロナ禍でひとり親家庭が経済的に大変打撃を受けたとうかがう中で、なにか自分にもできることはないのか。幼い頃ひとり親家庭で母ひとり、子ひとりで育った経験を思い出し、自問自答していく中で、昨年春、同じ思いを抱える市民の方々と「なりたお福わけ宅救便」という活動を始めました。活動内容はとてもシンプルです。市民の方々からご厚意でお福わけ(おすそ分け)頂いた食料品や日用品をネットで応募してきてくれたひとり親のご家庭にボランティアが置き配しに伺う、というもの。

奈良県に本部があるお寺おやつクラブさんの活動を参考に、60代と20代の世代間交流により生まれたスキームです。募集方法はネットのみ。連絡の取り方も受け取り希望のご家庭以外ではSNSのみという現代的な運営方法にもかかわらず、多くのご家庭にご利用いただき、子ども達の笑顔や、親御さんからの心温まるメッセージにより一周年を迎えることができました。賛同してくださりお福わけくださる方々の想いものせて月2回ボランティアメンバー直筆のメッセージを添えて活動しています。

サポートしていく環境を醸成しなければいけないのではないのでしょうか？内閣府では地方公共団体向けに「地域子供の未来応援交付金」というものをだしています。これは子供の居場所づくりや学習支援等を行う団体を行政が支援するための交付金です。しかしながら令和4年6月30日の時点で、千葉県内における交付自治体は千葉市、柏市、いすみ市、習志野市、松戸市、白井市、船橋市、佐倉市と8市のみとなっています。私はこれをとても残念に思います。本市においても、色々な地域で子ども食堂が開かれたりフードパントリーが行われたり市民の方々が第一線で危機感をもって取り組んでいらっしゃいます。その方々を応援しつつ、子どもは未来の宝であると主体性をもって成田市が子育て支援に取り組むよう求めていかなければなりません。



活動時にはメッセージカードを添えています。

## 市政への愛と情熱! Go! Narita!

### 次世代のまちづくりについて 市長に問う!



#### NT地区のJR西口、駅前広場の再生を明言!

令和4年9月定例議会、一般質問では次世代の担い手である若者や女性、子育て世帯に魅力的なまちづくりとしてどのように本市の魅力を発信していくのか、まちづくりの戦略について質問し団地の再生も含めた、図書館や公民館の再整備を核としたNT地区の再生に取り組むと答弁頂きました。市民の方々から多数寄せられた、JR西口駅前ロータリーの渋滞についても、より安全性が高く利便性に優れた駅前広場再整備の検討がされます。

引き続き、市民の方々の声を市政に反映させるため情熱と実行力を持って邁進していきます。詳細は次号にて!

notice

市議会報告 Vol.6

令和4年11月末  
発行予定

小高夕佳公式アカウント  
情報発信中!



公式LINE



Instagram